

欧州株式指数ファンド

追加型投信／海外／株式／インデックス型

日経新聞掲載名：欧株指数

2019年11月21日から2020年11月20日まで

第**11**期 償還日：2020年11月20日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主としてヨーロッパの取引所に上場している株式に投資し、ユーロ・ストックス50インデックス(配当込み、円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。当期についても、運用方針に沿った運用を行い、2020年11月20日に償還となりました。皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

償還価額(償還日)	19,883円76銭
純資産総額(償還日)	547百万円
騰落率(当期)	-2.5%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

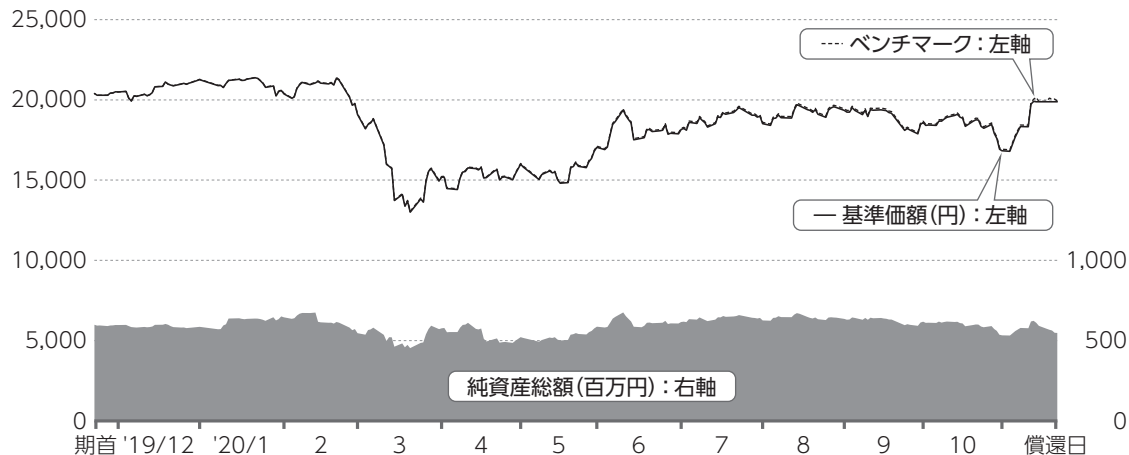
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2019年11月21日から2020年11月20日まで)

基準価額等の推移



※ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	20,401円
償還日	19,883円76銭
騰落率	-2.5%

※当ファンドのベンチマークは、ユーロ・ストックス50インデックス(配当込み、円ベース)です。

※EURO STOXX 50®は、ストックス・リミテッドの商標であり、委託会社の使用のためにライセンスされているものです。本商品はストックス・リミテッドによって資金提供、保証、売買または販売促進されるものではなく、その投資成果等についても責任を負いません。

基準価額の主な変動要因(2019年11月21日から2020年11月20日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてユーロ・ストックス50インデックスに採用されている株式に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 3月下旬から期末にかけて、新型コロナウイルスの収束とそれに伴う世界景気の急回復期待から株式市場が上昇したこと
- 5月から期末にかけて、ユーロが円に対して上昇したこと

下落要因

- 2月下旬から3月中旬にかけて、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)による世界経済の急激な落ち込みを懸念し、株式市場が大幅に下落したこと

1万口当たりの費用明細(2019年11月21日から2020年11月20日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	134円	0.726%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は18,405円です。
(投 信 会 社)	(61)	(0.330)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(61)	(0.330)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(12)	(0.066)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	24	0.130	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(株 式)	(23)	(0.122)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(1)	(0.008)	
(c) 有価証券取引税	6	0.030	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
(株 式)	(6)	(0.030)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	67	0.367	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(64)	(0.346)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(3)	(0.015)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	231	1.253	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

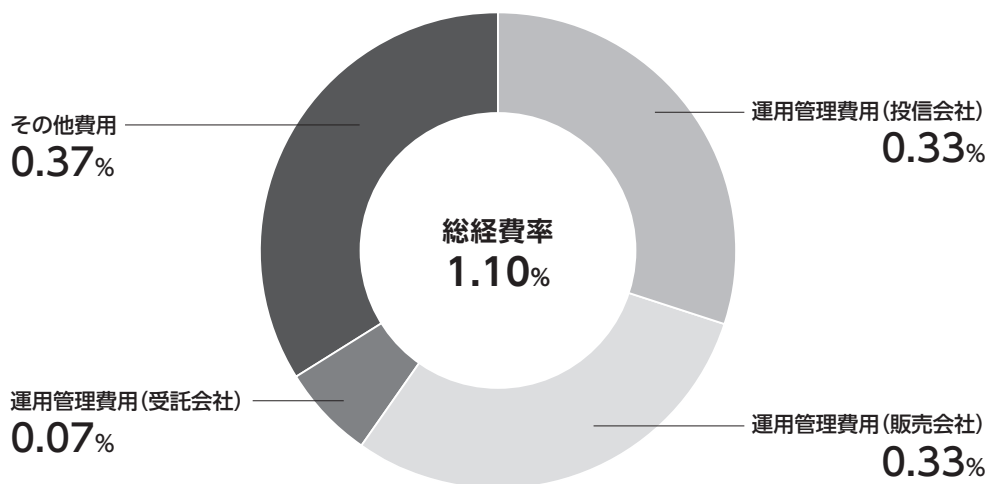
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.10%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2015年11月20日から2020年11月20日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2015年11月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2015.11.20 決算日	2016.11.21 決算日	2017.11.20 決算日	2018.11.20 決算日	2019.11.20 決算日	2020.11.20 償還日
基準価額 (円)	18,950	15,219	20,452	18,231	20,401	19,883.76
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-19.7	34.4	-10.9	11.9	-2.5
ベンチマーク騰落率 (%)	—	-19.5	34.8	-10.5	12.2	-2.3
純資産総額 (百万円)	1,218	589	624	621	598	547

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について(2019年11月21日から2020年11月20日まで)

当期の欧州株式市場は下落しました。ユーロは対円で上昇しました。

株式市場

欧州株式市場は期初から2020年2月下旬まで、米中貿易摩擦問題の解決に向けた進展などから上昇基調で推移しましたが、3月中旬にかけて大幅に下落しました。中国から感染が拡大した新型コロナウイルスは、急速に世界各国でのパンデミックとなりました。急激な感染拡大に対して、各国ともウイルス封じ込めのために社会活動や経済活動を未曾有の規模で制限することとなり、世界経済は短期間で事実上の停止状態へと追い込まれました。

3月下旬以降、株式市場は期末にかけて上昇しました。各国の金融当局が金融緩和策を強化し、また各国政府も財政政策によって世界経済の底割れ回避を図りました。感染者数の増加ペースが鈍化し、世界的な規模で実施されたロックダウン(都市封鎖)が徐々に解除されたことや、治療薬やワクチン開発にも進展がみられたことなどから世界景気に対する極度の不透明感が少しずつ後退すると、株式市場も反転し、上昇の動きとなりました。

当期の市場の動きをユーロ・ストックス50インデックス(ユーロベース)で見ると、期首に比べて6.62%下落しました。

為替市場

ユーロは、期初から2020年1月中旬までは世界景気の回復期待や日本の消費増税後の景気停滞観測からユーロ高・円安で推移しました。その後、イタリアで新型コロナウイルスの感染が急速に拡大したことなどから、ユーロは4月まで主要通貨に対して弱含む動きとなりました。5月以降は、欧州復興基金設立に向けた政治的な取組み(7月に設立が合意されました)や経済活動再開の動きなどが好感され、期末までユーロ高・円安の動きが強まりました。期を通してみると、ユーロ・円は期首の120円32銭から期末の123円34銭と、3円02銭のユーロ高・円安の動きとなりました。

ポートフォリオについて(2019年11月21日から2020年11月20日まで)

当ファンド

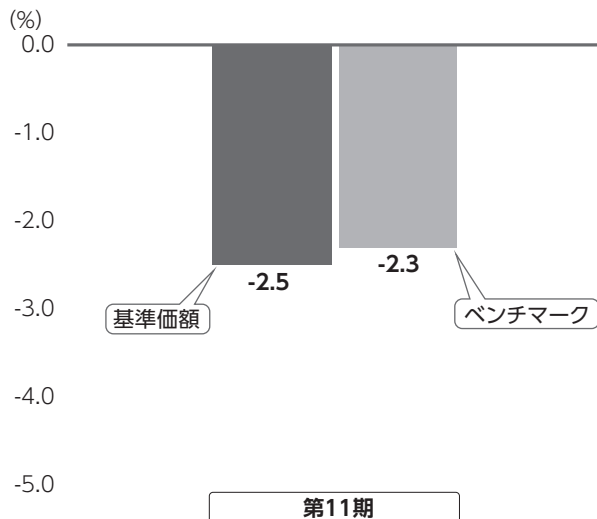
期初から2020年11月11日までは主要投資対象である「欧州株式インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れました。2020年11月12日から償還日までは償還に備えマザーファンドを売却し、主に現金を保有しました。

欧州株式インデックス・マザーファンド

ユーロ・ストックス50インデックス(配当込み、円ベース)の動きに連動する投資成果を目指し、期を通じてユーロ・ストックス50インデックス先物を含めた株式組入比率は100%に近い高位を保ちました。

ベンチマークとの差異について(2019年11月21日から2020年11月20日まで)

基準価額とベンチマークの対比(騰落率)



当ファンドは、ユーロ・ストック50インデックス(配当込み、円ベース)をベンチマークとしています。

左のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

ベンチマークとの差異の状況および要因

当期における基準価額の騰落率は-2.5%となり、ベンチマークの騰落率-2.3%から0.2%下方乖離しました。

下方乖離要因

- マザーファンドの株式売買手数料および保管費用等のコスト負担が生じたこと
- 信託報酬等が日々生じたこと

分配金について(2019年11月21日から2020年11月20日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

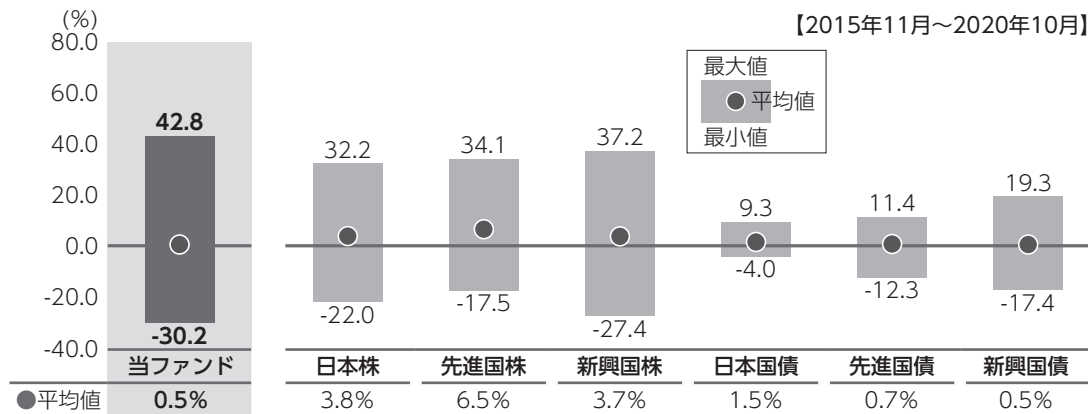
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型
信託期間	2010年7月1日から2020年11月20日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてヨーロッパの取引所に上場している株式に投資し、ユーロ・ストック50インデックス(配当込み、円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 欧州株式インデックス・マザーファンド ヨーロッパの取引所に上場している株式等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■主としてヨーロッパの取引所に上場している株式の中から、ユーロ・ストック50インデックスに採用されている銘柄を中心に投資します。 ■ユーロ・ストック50インデックス(配当込み、円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 ■株価指数先物取引等を含む株式の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <p>欧州株式インデックス・マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年11月20日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

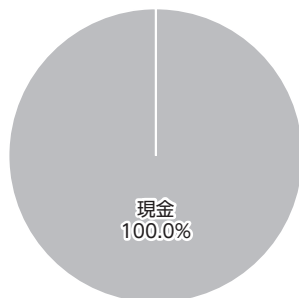
6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2020年11月20日)

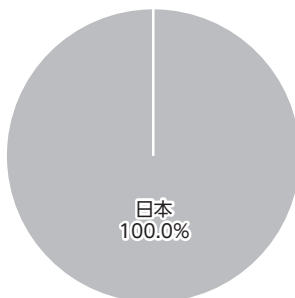
組入れファンド等

※償還日現在の組入れはありません。

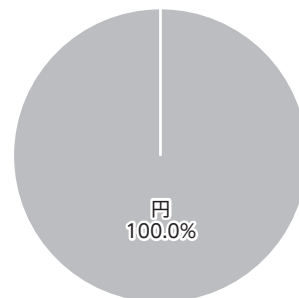
資産別配分 (純資産総額比)



国別配分 (ポートフォリオ比)



通貨別配分 (純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	償還日
純資産総額 (円)	547,850,847
受益権総口数 (口)	275,526,718
1万口当たり基準価額 (円)	19,883.76

※当期における、追加設定元本額は344,127,753円、解約元本額は362,034,168円です。

7 償還を迎えて

2010年7月1日に設定いたしました当ファンドは、2020年11月20日に償還することとなりました。

皆さまのご愛顧につき、お礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。